

■固定資産税におけるOCR・AI-OCR調査結果・対応方針

・WT構成員及び指定都市にOCR・AI-OCRの現行運用等を調査（「（参考）調査票」シート参照）した結果、以下のとおり回答いただきました。
 ・回答結果として「既に運用している」団体がいないもの、「今後の運用を検討している」団体が複数団体いること、レイアウトをOCR・AI-OCRに対応したデザインとした場合であっても市民・地方団体にとってデメリットがないことから、以下の帳票をOCR・AI-OCRに対応したデザインといたします。
 ・対応方法としては、「今後の運用を検討している」団体から検討中の方針を提供いただき、それを反映する方針です。
 ・償却資産申告書、種類別明細書については既に受領しているため、「【修正方針】償却資産申告書」シート、「【修正方針】償却資産種類別明細書(増加資産・全資産)」シート、「【修正方針】償却資産種類別明細書(減少資産)」シートのとおり修正する方針です。
 ※申告はがきについては、意見元団体から検討中の方針が未受領の状況。
 ・上記方針について、特段のご意見がございましたら本シートの「構成員向け意見欄」にご記載ください。

#	帳票名称	運用しているまたは運用を検討している地方団体数	地方団体数の内訳				対応方針	備考	WT構成員 回答集約													WT検討結果を踏まえた第2.0版修正方針			
			分類		運用の有無				A市	B市	C市	D市	E市	F市	G市	H市	I市	J市	K市	デジタル庁	修正内容				
			OCR	AI-OCR	既に運用している	今後の運用を検討している																			
1	償却資産申告書（償却資産課税台帳）（専用紙かつ複写式）	7	1	6	1	6	対応する	「既に運用している」団体がいない（あるとしている団体は納税義務者番号のみをハンドスキャナで読み込むもの。）ものの、検討中の地方団体がいるため対応する。																	反映する。
2	償却資産申告書（償却資産課税台帳）（専用紙）	5	0	5	0	5	対応する	「既に運用している」団体がいないもの、検討中の地方団体がいるため対応する。																	反映する。
3	償却資産申告書（償却資産課税台帳）（汎用紙）	6	0	6	0	6	対応する	「既に運用している」団体がいないもの、検討中の地方団体がいるため対応する。																	反映する。
4	種類別明細書（増加資産・全資産用）（専用紙かつ複写式）	6	0	6	0	6	対応する	「既に運用している」団体がいないもの、検討中の地方団体がいるため対応する。																	反映する。
5	種類別明細書（増加資産・全資産用）（専用紙）	5	0	5	0	5	対応する	「既に運用している」団体がいないもの、検討中の地方団体がいるため対応する。																	反映する。
6	種類別明細書（増加資産・全資産用）（汎用紙）	7	0	7	0	7	対応する	「既に運用している」団体がいないもの、検討中の地方団体がいるため対応する。																	反映する。
7	種類別明細書（減少資産用）（専用紙かつ複写式）	4	0	4	0	4	対応する	「既に運用している」団体がいないもの、検討中の地方団体がいるため対応する。																	反映する。
8	種類別明細書（減少資産用）（専用紙）	4	0	4	0	4	対応する	「既に運用している」団体がいないもの、検討中の地方団体がいるため対応する。																	反映する。
9	種類別明細書（減少資産用）（汎用紙）	5	0	5	0	5	対応する	「既に運用している」団体がいないもの、検討中の地方団体がいるため対応する。																	反映する。
10	申告はがき（明細なし）	1	0	1	0	1	対応する	「既に運用している」団体がいないもの、検討中の地方団体がいるため対応する。																	※意見元団体から修正方針（帳票サンプル）が受領できなかったため、反映しない。
11	申告はがき（明細あり）	2	0	2	0	2	対応する	「既に運用している」団体がいないもの、検討中の地方団体がいるため対応する。																	※意見元団体から修正方針（帳票サンプル）が受領できなかったため、反映しない。

OCR及びAI-OCRに対する調査について（依頼）

（参考）2022年6月に実施した調査票

①調査の趣旨

レイアウトを定めている帳票について、検討会やWTにてAI-OCRに対応したデザインにすべきのご意見を受け、標準化するかどうか検討しています。

また、AI-OCRだけでなくOCRを活用している帳票もあると認識しており、一旦は対象帳票を把握したいと考えています。

検討にあたり、現行運用について教えていただきたく、WT構成員及び指定都市宛に調査をさせていただきます。

②調査対象

帳票レイアウトを定めている帳票のうち、納税義務者や外部機関等の庁外から受け取るもの。

③調査項目

調査項目1. 対象帳票について

既に運用しているまたは今後の運用を検討している帳票についてご回答ください。

「調査票_団体名_33_7-X_【第2.0版案】帳票要件_税目名.xlsx」にて回答欄をグレーアウトしている箇所は、②調査対象に該当しないため回答不要です。

調査票	調査項目	回答方法
調査票_団体名_33_7-X_【第2.0版案】帳票要件_税目名.xlsx	対象帳票	OCR/AI-OCRを運用している/運用を検討している帳票について「●」を選択してください。
	分類	OCR/AI-OCRのどちらかを選択してください。
	運用の有無	既に運用している/今後の運用を検討しているのどちらかを選択してください。 ※「今後の運用を検討している」は、現在、お示ししている税務システム標準仕様書【第2.0版】（案）の帳票レイアウトをOCR/AI-OCRで読み込むことを検討している、又はベンダと調整している等を計画している帳票が該当します。
	備考	特記事項がありましたら備考欄に記入してください。
調査票_団体名_40_9-X_【第2.0版案】帳票印字項目・諸元表_税目名.xlsx	読み取り対象項目	OCR/AI-OCRで読み取る項目について「●」を選択してください。

調査項目2. 帳票サンプルについて

調査項目1で回答いただいた帳票について、帳票サンプルの提供をお願い致します。

提出の際は個人情報の記載がないことの確認をお願い致します。

○償却資産申告書

No.	項目名	変更要望
1	年度	
2	申告年月日	
3	納税義務者番号	文字間隔が狭いため、区切り線を削除する。 もしくは、文字間隔を広げ、区切り線を上辺まで伸ばす。
4	所有者_住所_フリガナ	項目間を罫線で区切り、記載範囲を明確にする。 項目の縦幅を広げる。
5	所有者_住所	
6	所有者_住所_電話番号	項目間を罫線で区切り、記載範囲を明確にする。
7	所有者_公簿上の住所又は所在地_フリガナ	項目間を罫線で区切り、記載範囲を明確にする。 記入文字が小さくなるため、項目の縦幅を広げる。
8	所有者_公簿上の住所又は所在地	項目間を罫線で区切り、記載範囲を明確にする。
9	所有者_氏名_フリガナ	項目間を罫線で区切り、記載範囲を明確にする。 記入文字が小さくなるため、項目の縦幅を広げる。
10	所有者_氏名	
11	所有者_氏名_屋号	項目間を罫線で区切り、記載範囲を明確にする。
12	所有者_公簿上の生年月日又は設立年月日	
13	所有者_個人番号又は法人番号	文字間隔が狭いため、区切り線を削除する。
14	所有者_事業種目	
15	所有者_事業種目_資本金又は出資金の額	
16	所有者_事業開始年月	
17	所有者_この申告に回答する者の係及び氏名	
18	所有者_この申告に回答する者の係及び氏名_電話番号	
19	所有者_税理士等の氏名	項目間を罫線で区切り、記載範囲を明確にする。
20	所有者_税理士等の氏名_電話番号	
21	所有者_短縮耐用年数の承認	
22	所有者_増加償却の届出	
23	所有者_非課税該当資産	チェックボックス形式に変更する。
24	所有者_課税標準の特例	<input type="checkbox"/> 有
25	所有者_特別償却又は圧縮記帳	<input type="checkbox"/> 無
26	所有者_税務会計上の償却方法	
27	所有者_青色申告	
28	市区町村における事業所の所在地1	
29	市区町村における事業所の所在地2	
30	市区町村における事業所の所在地3	
31	借用資産	チェックボックス形式に変更する。 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
32	借用資産_貸主の名称等	
33	事業所用家屋の所有区分	チェックボックス形式に変更する。 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
34	備考	
35	構築物_前年前に取得したもの	
36	構築物_前年中に減少したもの	
37	構築物_前年中に取得したもの	
38	構築物_計	
39	機械及び装置_前年前に取得したもの	
40	機械及び装置_前年中に減少したもの	
41	機械及び装置_前年中に取得したもの	
42	機械及び装置_計	
43	船舶_前年前に取得したもの	
44	船舶_前年中に減少したもの	
45	船舶_前年中に取得したもの	
46	船舶_計	
47	航空機_前年前に取得したもの	
48	航空機_前年中に減少したもの	

AI-OCR読取箇所

No. 18,19,20,28 償却資産申告書 (償却資産課税台帳)

令和 年 月 日 1 NN99年度

受付印 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34

償却資産申告書(償却資産課税台帳)

納税義務者番号

住所 (フリガナ) 1 住所 (フリガナ) 2 住所 (フリガナ) 3 個人番号又は法人番号 4 事業種目 (資本金又は出資金の額) 5 事業開始年月 6 事業開始年月 7 事業開始年月 8 短縮耐用年数の承認 9 増加償却の届出 10 非課税該当資産 11 課税標準の特例 12 特別償却又は圧縮記帳 13 税務会計上の償却方法 14 青色申告 15 有・無 16 有・無 17 有・無 18 定率法・定額法 19 有・無 20 有・無 21 有・無 22 有・無 23 有・無 24 有・無 25 有・無 26 定率法・定額法 27 有・無 28 市区町村内における事業所の所在地 29 市区町村内における事業所の所在地 30 市区町村内における事業所の所在地 31 借用資産 有・無 32 貸主の名称等 33 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家 34 備考(添付書類等)

資産の種類	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)
1 構築物	35	36	37	38
2 機械及び装置	39	40	41	42
3 船舶	43	44	45	46
4 航空機	47	48	49	50
5 車両及び運搬具	51	52	53	54
6 工具、器具及び備品	55	56	57	58
7 合計	59	60	61	62

資産の種類	評価額 (ア)	決定価格 (イ)	課税標準額 (ロ)	件数
1 構築物	63	64	65	66
2 機械及び装置	67	68	69	70
3 船舶	71	72	73	74
4 航空機	75	76	77	78
5 車両及び運搬具	79	80	81	82
6 工具、器具及び備品	83	84	85	86
7 合計	87	88	89	90

6 / 55 ページ

第二十六 (用紙日本産業規格A4・草色) (第十四条関係)

49	航空機_前年中に取得したもの	
50	航空機_計	帳票の余白に余裕がある場合、
51	車両及び運搬具_前年前に取得したもの	横幅が狭いため、枠を広げる。
52	車両及び運搬具_前年中に減少したもの	
53	車両及び運搬具_前年中に取得したもの	
54	車両及び運搬具_計	
55	工具、器具及び備品_前年前に取得したもの	
56	工具、器具及び備品_前年中に減少したもの	
57	工具、器具及び備品_前年中に取得したもの	
58	工具、器具及び備品_計	
59	合計_前年前に取得したもの	
60	合計_前年中に減少したもの	
61	合計_前年中に取得したもの	
62	合計_計	
63	構築物_評価額	
64	構築物_決定価格	
65	構築物_課税標準額	
66	構築物_件数	
67	機械及び装置_評価額	帳票の余白に余裕がある場合、
68	機械及び装置_決定価格	横幅が狭いため、枠を広げる。
69	機械及び装置_課税標準額	
70	機械及び装置_件数	
71	船舶_評価額	帳票の余白に余裕がある場合、
72	船舶_決定価格	横幅が狭いため、枠を広げる。
73	船舶_課税標準額	
74	船舶_件数	
75	航空機_評価額	帳票の余白に余裕がある場合、
76	航空機_決定価格	横幅が狭いため、枠を広げる。
77	航空機_課税標準額	
78	航空機_件数	
79	車両及び運搬具_評価額	帳票の余白に余裕がある場合、
80	車両及び運搬具_決定価格	横幅が狭いため、枠を広げる。
81	車両及び運搬具_課税標準額	
82	車両及び運搬具_件数	
83	工具、器具及び備品_評価額	帳票の余白に余裕がある場合、
84	工具、器具及び備品_決定価格	横幅が狭いため、枠を広げる。
85	工具、器具及び備品_課税標準額	
86	工具、器具及び備品_件数	
87	合計_評価額	帳票の余白に余裕がある場合、
88	合計_決定価格	横幅が狭いため、枠を広げる。
89	合計_課税標準額	
90	合計_件数	

○償却資産種類別明細書(増加資産・全資産)

No.	項目名	変更要望
1	年度	
2	所有者名	
3	納税義務者番号	文字間隔が狭いため、区切り線を削除する。 もしくは、文字間隔を広げ、区切り線を上辺まで伸ばす。
4	資産の種類1	帳票の余白に余裕がある場合、横幅が狭いため、枠を広げる。
5	資産コード1	
6	資産の名称等1	文字間隔が狭いため、区切り線を削除する。
7	数量1	
8	取得年月_年号1	帳票の余白に余裕がある場合、横幅が狭いため、枠を広げる。
9	取得年月_年1	文字間隔が狭いため、区切り線を削除する。
10	取得年月_月1	
11	取得価格1	帳票の余白に余裕がある場合、横幅が狭いため、枠を広げる。
12	耐用年数1	文字間隔が狭いため、区切り線を削除する。
13	減価残存率1	
14	価格1	帳票の余白に余裕がある場合、横幅が狭いため、枠を広げる。
15	課税標準の特例_率1	文字間隔が狭いため、区切り線を削除する。
16	課税標準の特例_コード1	
17	課税標準額1	帳票の余白に余裕がある場合、横幅が狭いため、枠を広げる。
18	増加事由1	マーク式の間隔が狭いため、数字を直接入力する。
19	摘要1	【WT実施時の事務局追記】元旦取得についてはデジタル庁から取得年月日があれば不要の旨回答があったため削除とする方針。そのため以下の対応はしない想定。 【WT実施後の事務局追記】 取得年月までの管理とするため、以下を反映する。 元旦取得のチェックボックスを追加する <input type="checkbox"/> 元旦取得 もしくは、元旦取得の欄を新規に設ける。
20	異動区分	各行ごとに異動を判断できるチェックボックス欄を追加する。 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 訂正 <input type="checkbox"/> 抹消
21	・・・	

AI-OCR読取箇所



No.22,23,24,29_種類別明細書(増加資産・全資産用)

所有者名: [2] 枚のうち [8] 枚目 [10]

種類別明細書(増加資産・全資産用)

納税義務者番号: [3]

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月	取得価格	耐用年数	減価残存率	価額	課税標準の特例率	課税標準額	増加事由	摘要	
01	[4]	[5]	[6]	[7]	[9]	[11]	[12]	[13]	[14]	[15]	[16]	[17]	[18]	[19]
02														
03														
04														
05														
06														
07														
08														
09														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
小計														

No.4-No.19は、行番号分繰り返す

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他のいずれか4CO印を付けてください。

第二十六号様式別表一(提出用)(用紙日本産業規格A4・章色)(第十四条関係)

償却資産種類別明細書(減少資産)

○償却資産種類別明細書(減少資産)

No.	項目名	変更要望
1	年度	
2	所有者名	
3	納税義務者番号	文字間隔が狭いため、区切り線を削除する。 もしくは、文字間隔を広げ、区切り線を上辺まで伸ばす。
4	異動事由1	マーク式の間隔が狭いため、数字を直接入力する。
5	資産の種類1	帳票の余白に余裕がある場合、横幅が狭いため、枠を広げる。
6	資産コード1	
7	資産の名称等1	1文字ずつの間隔が狭いため、1桁区切りの線を削除する。
8	数量1	
9	取得年月_年1	帳票の余白に余裕がある場合、横幅が狭いため、枠を広げる。
10	取得年月_年1	
11	取得年月_月1	1文字ずつの間隔が狭いため、1桁区切りの線を削除する。
12	取得価額1	帳票の余白に余裕がある場合、横幅が狭いため、枠を広げる。
13	耐用年数1	
14	申告年度1	1文字ずつの間隔が狭いため、1桁区切りの線を削除する。
15	減少の事由1	マーク式の間隔が狭いため、数字を直接入力する。
16	減少の区分1	
17	摘要1	
19	...	

AI-OCR読取箇所

No.25,26,27_種類別明細書(減少資産用)

1 NN99年度 種類別明細書(減少資産用)

所有者名		枚のうち		枚目		納税義務者番号						
2						3						
行 番 号	異動 事由 1 2 3	資産の 種類 コード	資産の名称等	数 量	取得年月 年 月	取得価額	耐用 年数	減少の事由及び区分				摘 要
								1 売却	2 滅失	1 全部	2 一部	
								3 移動	4 その他	1 全部	2 一部	
01	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
02	4	6	7	8	10	12	13	14	15	16	17	
03	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
04	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
05	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
06	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
07	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
08	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
09	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
10	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
11	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
12	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
13	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
14	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
15	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
16	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
17	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
18	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
19	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
20	1-2-3							1-2-3-4	1-2			
小 計												

No.4-No.17は、行番号分繰り返す

第二十六号様式別表二(提出用)(用紙日本産業規格A4・赤色)(第十四条関係)

中央郵便局
料金後納
郵便

9 9 9 9 9 9 9

NN99年99月99日
納税義務者番号999999999999

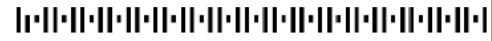
No.37_申告はがき (明細なし)

〇〇市長あて

〇〇県〇〇市〇〇町NNNNNNNNNN
〇〇〇〇NNNNNNNNNNNNNNNNNN
〇〇NNNNNNNNNNNNNNNNNN
〇〇NNNマンション1234N
△△△△NNNNNNNNNNNNNN
△△△△NNNNNNNNNNNNNN
△△△△NNNNNNあいう かき

NN99年度 固定資産税 (償却資産) の申告について

※意見元団体から修正方針 (帳票サンプル) が受領できなかったため、反映しない。



【提出先・お問い合わせ先】
●●●市役所 ●民税課 課税
係
〒XXX-XXXX
●●●県●●●市●●● 1-1-1
TEL 111-1111 (内線1111)

電話番号

備考

[Empty box for phone number and remarks]

中央郵便局
料金後納
郵便

9 9 9 9 9 9 9

No.38_申告はがき (明細あり)

NN99年9月9日
納税義務者番号999999999999

〇〇市長あて

NN99年度 固定資産税 (償却資産) の申告について

種類別明細

〇〇県〇〇市〇〇町NNNNNNNNNN
〇〇〇〇NNNNNNNN
〇〇NNNNNNNNNN
〇〇NNNマンション1
△△△△NNNNNNNN
△△△△NNNNNNNN
△△△△NNNNNNあ
㊚㊚㊚㊚㊚㊚㊚㊚㊚㊚㊚㊚㊚㊚

種類	資産コード	資産名称	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	特例非課税
9	XXXXXXXX	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN	ZZZ9	XXXXXX	Z,ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	Z9	XXX
9	XXXXXXXX	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN	ZZZ9	XXXXXX	Z,ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9	Z9	XXX

※意見元団体から修正方針 (帳票サンプル) が受領できなかったため、反映しない。

【提出先・お問い合わせ先】
●●●市役所 ● 国税課 課税係
〒XXX-XXXX
●●●県●●●市●●● 1-1-1
TEL 111-1111 (内線1111)

修正・増減なし・廃業等の別
住所又は所在地
氏名又は名称
備考
電話番号